

# 世界教育會議に就て（拔萃）

帝國教育會内

## 第七回世界教育會議日本事務局

昭和十二年即ち今年八月二日より一週間に亘つて我が日本の帝都東京に於て第七回世界教育會議が開催されることに決定してゐる。そこで同會議を主催する世界聯合教育會の正會員たる帝國教育會はこれが開催に必要な諸般の事務の實行を擔當することとなり、政府當局の了解を求めると共に、新に第七回世界教育會議日本事務局を設置して専らその事務に當らせることとした。

而して本會議は素より教育に關する會議であり、教育者の會合であるが、多數の有力なる學者教育家が外國より参加出席するので、これら参加者に對し我が國の文化の真相を紹介し、誤りなき日本の眞の姿を認識せしめるには絶好の機會であり、特に参加者が穩健中正の立場に立つ教育家であり職務上有力なる宣傳力を有するものであるに鑑み、これらの人々に我が國體、我が文化、我が經濟等の種々相の粹を知悉せしめることは日本として正に爲すべき義務であるさへ考へられる。

故に政府は勿論民間に於ても、既にこの會議開催に對し、有力なる支援を約束されたもの尠くないのであるが、全國の教育家は當初より非常な熱心を以てこれが贊助後援をされてゐるのである。

現在第七回世界教育會議日本事務局はその準備事務としてアメリカ本部と連絡し、或はパンフレットを作成して有力教育家學者の渡日を勧誘し、或は外國に於ける各種教育會議開催の機を利用してメッセイジを送り、又は直接人を派して宣傳を行ふ計畫を樹てゐる。又この東京會議の爲め後援をなすべき協賛會を組織すべく準備中であつて、既に外務文部鐵道三省の關係課長涉外國際團體幹部等を網羅せる總務委員會を組織して事務實行上の諮問機關として活動を願つてゐる。

今左に世界教育會議の沿革目的組織等を略記して見る。

### 改革

世界教育會議とは舊名世界教育會 (World Education of Associations) 主催の會議である。この世界教育會とは、世界各國の代表的な教育會、教育團體及び教育に關係ある團體の聯合した會であつて、米國の國民教育協會 (National Education Associations) 主唱のうちに、一九一三年に創立され、その創立會議は、一八二三年六月二十八日より七月五日迄、米國サンフランシスコに開催された。この會議に於て同會の構成及び事業等の大綱が決定され、更に種々國際的な教育問題を協議し、爾後隔年に會議を開く可き事を申し合せ、尙會長には米國メーン州オーガスタ州の督學官トーマス氏が選ばれた。

第一回世界教育會議は一九二五年英國エジンバラに開かれたが、當時その正會員たる教育會は、我が國の帝國教育會及び、合衆國國民教育協會 (National Education Association of the United State) 等七つに過ぎなかつた。

然るに一九二七年カナダのトロントに於て開かれた第二回世界教育會議に於ては正會員たる教育會の数は更に十四を加へ二十一となり、尙准會員として入會せる教育會及び教育關係の團體数は十六を數ふるに至つた。このトロント

トに於ける會議に於て、この會議主催者の名稱を世界聯合教育會(The World Federation of Education Associations)と定め、尙その會則及び細則等をも正式に定めた。

その後一九二九年にスイスのジュネーブに第三回を、一九三一年に米國デンバーに第四回を、一九三三年に英國のダブリンに第五回を、一九三五年に英國のオックスフォードに第六回を開いた。

會員は現在正會員、准會員併せて約百五十の團體を數ふるに至り、次第に隆盛に赴きつゝある。又會長は昨年のオックスフォードの會議はフレッド・マンダー氏であつたが、現在は米國コロンビア大學のボール・モンロー氏である。

### 會の目的

世界聯合教育會は教育事業に於て國際的協調を保たんが爲に設けられたものであつて、その目的とする所は、世界の教育及び教授の進歩發達を圖り、教育事業に於て國際的協調をなし、各國家及び國民間に於ける教育の進歩に關する狀況を相互に明らかにし、世界各國の教育に關係ある團體間の協力を一層密接ならしむることに努め、國際的善意を涵養し、且つ世界的平和を助長すること等である。

### 會の構成

會員、この會員たるものは世界各國の教育會、教員會、教育に直接に關係ある人々の團體、教育をその主要なる職能とする研究機關或は協會とする。而して會員は之を正會員、准會員に分ち、正會員たるを得るものは、(イ)國家的教育團體或は教育に直接關係ある人々を以て組織されたる團體、(ロ)一國に於ける教育者の團體にして、國家的之言ひ得る程の大なる組織を有せざるも、この會に於て正會員たることを許可せるものであることを要す。又准會員となりうるものは教育をその主要なる職能とする團體又は研究團體にして前項(イ)(ロ)の何れにも屬せ

ざるもので、理事會の承認を経たものであることを要する。而して准會員たる團體の代表者は公開會議に於ては討論に加はることを得るも、代表者會議に於ける議決權は有しない。然し乍ら准會員の中、大學及び高等なる研究機關を代表する准代表者は、それ等の中より一名乃至數名の代表者を選出し得ることとなつて居り且つその代表者は正會員たるの資格を得る。

代表者 この會の最高議決機關として代表者會議なるものがある。この代表者は正會員たる資格を有する團體より各々一名宛出すことになつて居り、なほその正會員たる團體を有する會員二千名毎に一名宛の代表者を送り得る規定であるが、その數は五十名を最高限度とする。

役員 會長一名、副會長三名、書記長一名、書記一名、會計一名を置く。

會長は理事會が理事會員又はそれ以外の者より選出するもので、隔年に開かれる會議の終りに決定し、その任期は次の會議の終る迄即ち二箇年である。會長は會に關する總てのことを總理する。即ち諸種の會議を統督し、且つ實行委員會と協議の上、會議の議案等を準備し、又理事會の承認を経て總會及び各部會の日時及び場所を決定し、更に理事會及び實行委員會の議長となる。

副會長は理事會の互選により、その數は三名で、ヨーロッパ・アメリカ・アジアより各一名宛を選出すべき規定である。任期は議長と同じく二年である。副會長の選出は一九二九年ジュネーブの會議の理事會に於て英國のヘンダーソンによつて交替制によることが提議され、その動機は成立し、爾來實行されてゐる。

現在即ち一九三五—三七年の副會長はフレッド・マンダー(ヨーロッパ) 永田秀次郎(アジア) ハーリー・チャールス

ワース（アメリカ）である。

**理事會** 理事會は代表者會議に於て選出せられた理事を以て構成される會で、世界聯合教育會の中樞機關をなすものである。理事の任命は隔年に開催せらるゝ會議に於て正會員たる各教育團體の代表者一名宛を以て組織する任命委員會が詮衡し、代表者會議の議を経て行はれる。その任期は四年であるが、理事全體を二組に分け、その任期の始期を異にしてゐる。第一組は一九二九年に選出し、第二組は一九三一年に選出する如くなつてゐる。理事の數は十五名以上とし、六十五名に迄増し得るこゝになつてゐる。現在理事は十七名で、日、英、米、印等の各國から一名乃至三名選出されてゐる。理事會は會議に於ける總會及び部會の場所、時日の決定に承認を與へ、又この世界聯合教育會の常設本部の位置を定むる權利を有し、更にこの會の財政狀態を代表者會議に報告すべき義務がある。而して定例理事會は、世界教育會議の會期中その場所に於て開催される。

**實行委員會** 理事會は前述の如く隔年に開かれる世界教育會議の同期中に開かれるものでその間理事會の有する種々の職能を充分に且つ迅速に果すこゝが出来ない。そこで常設の實行委員會を設けて、その間に於て、理事會に代行せしめてゐる實行委員會は四名の實行委員を以て組織されて居り、中一名は世界聯合教育會長、他の三名は理事の中より選出する。

**監事會** 監事は十五名以上二十一名以下とし、監事會の推薦せるものゝ中より理事會が選任するこゝになつて居り、その任期は六ヶ年である。然し監事を三組に分けて二年毎にその一組を選出すべきこゝになつてゐるので二年毎に監事の三分の一が代つて行くこゝなる譯である。更に又任期中缺員を生じた場合には、監事會自身が選出し補充

することゝなつてゐる。監事は法人たる世界聯合教育會の主として資産の處理及び監査に當るもので、毎年會計報告を理事會に提出せねばならぬ。

**經費** 世界聯合教育會の正會員たる教育團體は自己の團體に屬する會員一人に付き年額一仙を會費として納むることを要する。而してその團體の納むべき會費の總額は二十五弗を下る事を得ず、又最高一〇〇〇弗を超えぬものとする。准會員たる團體も正會員の場合と同額であるが、唯その限度は十弗乃至一〇〇弗である。又この外に寄附金等があり又會議に出席せる者は會費として若干納むる事となつてゐる。その額は一定せぬが約五弗である。

**本部** 常設の本部は未だ出來てゐない。當分會長の所に置く事となつてゐる。

### 事業

前述の如き目的を達する爲、この會は種々の事業をなしてゐる。即ち諸種の會合を催して意見の交換、研究發表、事業の報告等をなし、或は諸種の調査、パンフレットの頒布をなす等、適切有效なる手段を講ずることに努めてゐる。そして是等の事業を總括する爲に隔年に世界教育會議を開催してゐる。即ち世界教育會議はこの會の主となる事業である。

**世界教育會議** 一九三三年米國のサンフランシスコに開催されてから、隔年に開かれてゐる。即ち第一回は一九二五年七月二十一日より二十七日迄英國エジンバラに於て、第二回は一九二七年八月七日より十三日迄カナダのトロントに於て、第三回は一九二九年七月二十五日より八月三日迄スイスのジュネーブに於て、第四回は一九三一年七月二十七日より八月二日迄、米國のデンバーに於て、第五回は一九三三年七月二十九日より八月四日迄英國のダブリンに於て、第六回は一九三五年八月十二日より十七日迄英國オックスフォードに於て開催されたのである。而して一九二

三年の會議が第一回の譯であるが、之は創立準備の爲の會として一九二五年の會議を第一回の會議としてある。

會議の場所、時及び順序は豫め實行委員會に於て定める。時日は大抵七・八月頃で、その會期は約一週間である。會議には總會と部會とがある。總會では、各國の代表者又はその他の中の著名なる人々の講演が行はれ、又各國代表者のメッセージなどが讀みあげられる。部會は各部の會合で、出席者は大抵何れかの部に屬し、その部會に出席する事となつてゐる。部は第一回のエジンバラ會議以來次第に設けられて現在では二十數部に及んでゐる。各部には部長と書記とがある、任期は二箇年で共に最終部會に於て選舉することとなつて居り、若し選舉し得ぬ時及び缺員を生じた場合には會長の指名による。部會に於ては各その部に屬する教育問題を協議し、又各國代表者の報告等もなされる。是等の部會のプログラムは豫めその部長と會長との協議によつて定められる。書記はその部會の議事録を聯合教育會の書記に報告する事となつてゐる。第一回のエジンバラ會議以來設けられた部は次の如くである。

- 1、性格、道德及び宗教教育部
- 2、農業教育部
- 3、保健教育部
- 4、文盲部
- 5、産業教育部
- 6、學校兒童國際通信部
- 7、國際交換教授部
- 8、圖書館部
- 9、儉約教育部
- 10、成人教育部
- 11、問題兒童及び青年部
- 12、大學及び専門學校部
- 13、初等教育部
- 14、幼兒教育部
- 15、地理部
- 16、教員養成部
- 17、中等教育部
- 18、映畫教育部
- 19、父兄會部
- 20、社會教育部
- 21、教員會部
- 22、教育及び出版物部
- 23、放送教育部
- 24、商業教育部
- 25、工藝教育部

併し何の部でも常に世界教育會議毎に部會を開いて居ることは限らない。又その時の都合によつて他の類似の部と合同する事もある。昨年のオックスフォード會議に於ては部會は十九開催されてゐる。

### ハーマン・ジヨルダン 委員會

一九二三年サンフランシスコ會議の後、米國カリフォルニア州フィラデルフィアのラファエル・ハーマンと言ふ人が、聯合教育會に二萬五千弗を提供し、それを懸賞金として、國際的正義及び善意の精神を發達せしむべき最善の教育的案を廣く募られんことを申出て來た。ハーマン氏は獨逸人であるが、三十數年前米國に移住し來り、爾來苦心經營の結果今日に於ては有數の實業家となつた人で、常に人類愛國際的協調を強調し、又この世界聯合教育會の財政的援助をなして居り、現在は監事の一人である。聯合教育會では早速世界各國に募集し、各方面から多數の應募を得た。各方面の著名なる人々を以て組織された審査委員會に於て審査の結果、米國のリーランド・スタンフォード・ジュニア大學の名譽總長ジヨルダンの案を採用することゝした。

ジヨルダンの案は、國際的正義及び善意の精神を發達せしむるには先づそれ等の事實及び方法に就いて深く研究し決定し行くべきであるとし、その爲に世界聯合教育會の中に次の如き數個の調査委員會を設置すべきであるとしてゐる。即ち

- 一、各國の教育團體と聯絡をとり、又平和實現の爲に設立せられた世界各國の團體と協調し、教育によつて世界平和を實現するに有效適切なる方法を調査研究する爲に世界的な平和委員會を設け
- 二、世界に於ける歴史教授の現状を調査すべき委員會
- 三、國際的運動競技に關する委員會
- 四、調停局に關する調査委員會
- 五、軍事教育調査委員會



## 六、戰爭不可避論調査委員會

七、ヘーグ仲裁裁判所及び國際司法裁判所の世界教育に對する關係を調査すべき委員會

等を設け、その調査研究の結果を聯合教育會に報告し、聯合教育會はそれに基いて有效適切なる方策を樹つべきであるとしたのである。

世界聯合教育會に於ては、第一回のエジンバラ會議に於て、この案を採用する事とし、便宜上以上の數個の委員會を次の五箇の委員會にまとめ、之にハーマン・ゾルダン委員會なる名稱を附する事とした。即ち第一部平和教育部、第二部歴史教育部、第三部國際運動競技部、第四部軍事教育部、第五部國際調停部の五部で、部長は創設以來殆んど同一人である。この委員會の各部會も夫々會期中開かれる。

以上の如く總會、部會、ハーマン・ゾルダン委員會等に於て世界各國の教育者が相會して、種々の教育問題に關する講演、調査研究の報告、討議等が行はれるのであるが、尙その外に代表者會議なるものが開催せられる。

代表者會議は代表者によつて組織せられる會議で世界聯合教育會に於ける最高決議機關である。理事の選出、決議事項の決定、會則及び細則の變更等皆この代表者會議に於て行はれる。各部會及びハーマン・ゾルダン委員會の決議事項は決議案作製委員會に於て之を整理し、世界聯合教育會の決議文を作製し、次いでこの代表者會議に報告して同會議の議決を経て、正式に世界聯合教育會の決議として公表されるのである。